

サケ放流稚魚海水適応試験成績と回帰率との関係

福島県水産種苗研究所
平成6～16年事業報告

1 部門名 水産業－栽培漁業－サケ

分類コード 19-05-29

2 担当者 泉茂彦・河合孝

3 要旨

サケ増殖河川において生産された放流稚魚の健全度を評価するために実施される海水適応試験の成績と、放流4年度の回帰率との関係を検討した。

海水適応試験は、県内のふ化場で放流されるサケ稚魚を海水で無給餌で飼育し、48時間後の生残率を調査する試験であり、生残率は概ね100%近い値を示したが、全体に生残率の低下している年の4年後サケの回帰率は低下する傾向がみられ、回帰資源評価の参考資料として活用できると考えられた。また、生残率の極端に低下している河川はえら病の発生が考えられ、適正な飼育密度、注水量、環境維持巡回指導、飼育技術研修会などで試験結果を種苗の評価として活用した。

4 その他の資料など

さけ資源管理推進調査報告書